

5-2 生活道路網の整備

■現況と課題

地域内の生活道路は、国道、道道などの幹線道路と各地域を結んでおり、日常生活の利便性や防災などの安全性の向上に大きく貢献しているとともに、水道、電気を供給するルートとして、重要なネットワークを形成しています。

当町ではこれまで改良や舗装など整備の促進に努めてきましたが、狭隘な道路の改善、道路空間のバリアフリー化など、生活者の視点に立った利用環境の改善が求められています。

また、都市計画道路である町道まきば通線は、平成17年度にまきばトンネルが完成し、常盤町～東町まで開通しましたが、未開通区間の緑町～常盤町間については未供用であり、国道の「渋滞緩和」と「災害に強いまちづくり」の観点からも早期着手が望まれています。

■今後の方向性

- (1)宅地化が進み交通量が増大している町道緑町1号線の改良を推進します。
- (2)生活の利便性や防災などの安全性の向上を図るため、舗装や排水整備を行うとともに、維持補修に努めます。
- (3)障がい者や高齢者が不安なく道路や歩道を通行することができるよう、道路空間のバリアフリー化を進めるなど、道路環境の改善を進めます。
- (4)町道まきば通線は、交通渋滞の緩和と防災面からも重要な路線であることから、全線開通に向けて、道道への昇格及び早期の着工を関係機関へ強く要望します。

■実施事業

- ・堺町西3丁目2号線の改修
- ・堺町東3号線の改修
- ・堺町東4号線の改修
- ・街路事業緑町向別通（町道緑町1号線）
- ・町道局部改良事業
- ・町道舗装新設事業
- ・町道舗装補修事業
- ・排水整備事業
- ・町道橋梁長寿命化事業
- ・道路附带施設補修
- ・浦河町街路灯維持補修
- ・まきば通線の整備
- ・堺町川沿地区の避難道路の整備